

## 浜工における新幹線脱線事故で申し入れ！

2017年8月8日、新幹線浜松工場で脱線事故が発生しました。幸いにも負傷者は発生しませんでした。この脱線事故により踏切が支障し近隣住民や通行車両に多大の迷惑を掛けています。

会社は原因について「レールの締結力が経年により十分でなかったため」と発表しましたが、点検保守はどのようになっていたのでしょうか？点検保守に対して経費を含めて十分な対応を取ってきたのでしょうか？

また、浜松工場においては2008年10月にも脱線事故が発生していますが、今回の事故との関連はあるのでしょうか？

新幹線地本は今回の脱線事故は非常に重大な事故であると認識し、早急に原因究明と再発防止対策を講じるよう、幹鉄事に対して申し入れを行いました。

### 【 主な申し入れ内容は以下の通りです 】

「新幹線浜松工場における新幹線車両脱線事故」に関する申し入れ

- \* 脱線事故発生の詳細について時系列で明らかにすること。
- \* 脱線の原因について明らかにすること。
- \* 今回の脱線事故の対策について明らかにすること。
- \* プレス発表によると、原因の一端は「レールの締結力が経年により十分でなかったため」としているが、浜松工場のレール等、軌道の整備点検はどの様に行われていたのか明らかにすること。
- \* 対策として「板ばね」による締結に変えたとしているが、これは恒久的な対策なのか明らかにすること。また、本線と同じような軌道とするべきだと考えるが会社の考えについてあきらかにすること。
- \* 2008年10月にも脱線事故を起こしているが、その時の原因と対策について明らかにすると。また、今回の脱線との関係の有無について明らかにすること。

## 経年劣化や老朽化が原因なら許されない！！